ンター・中国がんセンターにおいて胃癌あるいは膵癌外科切除術・受けた方。 研究の目的・方法 研究目的:消化器癌の癌幹細胞の実態を明らかにすることです研究の方法:研究対象者の診療録(カルテ)内にあるデータを使して、胃癌や膵癌について解析します。またご参加いただいた E 597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝・発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余を使用して、免疫染色などをします。 研究に用いる試料・ 情報:年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型		<b>実施許可日 ∼2028 年 3 月 31 日</b>
ンター・中国がんセンターにおいて胃癌あるいは膵癌外科切除術・受けた方。 研究の目的・方法 研究目的:消化器癌の癌幹細胞の実態を明らかにすることです研究の方法:研究対象者の診療録(カルテ)内にあるデータを使して、胃癌や膵癌について解析します。またご参加いただいた E 597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝・発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余を使用して、免疫染色などをします。 研究に用いる試料・ 情報:年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型	TICE O THE	<b>人が出って                                    </b>
受けた方。 研究の目的・方法 研究目的:消化器癌の癌幹細胞の実態を明らかにすることです 研究の方法:研究対象者の診療録(カルテ)内にあるデータを使して、胃癌や膵癌について解析します。またご参加いただいた E 597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝・発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余を使用して、免疫染色などをします。 研究に用いる試料・ 情報:年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型	研究の刈累	2016年11月22日 ~ 2022年8月18日の間に呉医療セ
研究の目的・方法 研究目的:消化器癌の癌幹細胞の実態を明らかにすることです 研究の方法:研究対象者の診療録(カルテ)内にあるデータを使して、胃癌や膵癌について解析します。またご参加いただいた 597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余を使用して、免疫染色などをします。 研究に用いる試料・ 情報:年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型		ンター・中国がんセンターにおいて胃癌あるいは膵癌外科切除術を
研究の方法:研究対象者の診療録(カルテ)内にあるデータを使して、胃癌や膵癌について解析します。またご参加いただいた E 597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余を使用して、免疫染色などをします。 研究に用いる試料・ 情報:年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型		受けた方。
して、胃癌や膵癌について解析します。またご参加いただいた E 597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余を使用して、免疫染色などをします。 研究に用いる試料・ 情報:年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型	研究の目的・方法	研究目的:消化器癌の癌幹細胞の実態を明らかにすることです
597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余を使用して、免疫染色などをします。  研究に用いる試料・ 情報: 年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型		研究の方法:研究対象者の診療録(カルテ)内にあるデータを使用
発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余を使用して、免疫染色などをします。 研究に用いる試料・ 情報: 年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型		して、胃癌や膵癌について解析します。またご参加いただいた E-
を使用して、免疫染色などをします。研究に用いる試料・ 情報: 年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA 情報の種類CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型		597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝子
研究に用いる試料・情報:年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA情報の種類CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型		発現、薬剤感受性の解析)」にて提供いただいた病理検体の残余分
情報の種類 CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型		
		情報:年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA・
H 翻一	情報の種類	
		組織学的悪性度、T/N/M grade、pStage等
試料:摘出した組織		
外部への試料・情報   ありません		ありません
の提供 SUR A RRAW A A RRAW A R		
利用を開始する予   本学における実施許可日 		本学における実施許可日
	, <u> </u>	
	個人情報の保護	本研究で使用する試料・情報は先行研究 E-597 にてどなたのもの
		か特定できない状態で提供を受けており、本学では個人を特定する
ことは出来ません。		
研究組織   本学の研究責任者   広島大学大学院内系科学研究科 分子原理学 助教 石川学	如为我们的	
広島大学大学院医系科学研究科 分子病理学 助教 石川洸 その他 本研究から得られた RNA シークエンスのデータを公共データベ		
	て0万世	本研究から得られた RNA シークエンスのデータを公共データベースに登録する可能性があります。その場合、個人が特定できる情報
は含まれません。		
	 研究への利田を辞	本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせくだ
		さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究
		の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を
閲覧することができますので、お申し出ください。		
		TESTED GEORGE CONTRACTOR VICEVIO
   広島大学大学院医系科学研究科 分子病理学		広島大学大学院医系科学研究科 分子病理学
担当者:石川 洸		
〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3		〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3
電話番号:082-257-5147		電話番号: 082-257-5147